

高学年例会

主催 ぎふサンSUN子ども劇場協議会  
〈岐阜県教育文化財団助成事業〉

震災から7年がたち、あらためて福島の被災者に心をよせる機会に!!

神田 香織 講談 (オフィス・パパン)

# 「福島の祈り～ある母子避難の声」

講談師・神田香織 プロフィール

福島県いわき市出身。

高校卒業後、東京演劇アンサンブル等を経て神田山陽門下生となる。

二ツ目以降、ジャズ講談や一人芝居の要素を取り入れた

神田香織独自の講談を次々と発表、講談の新境地を切り開いている。

2011年3月11日の震災後、ふるさとの福島で念入りな聞き取りと現地調査を行い、

2013年秋「福島の祈り～ある母子避難の声」を完成。



日時：7月8日（日）19：00開演（18：30開場）

会場：ぎふメディアコスモス みんなのホール（岐阜市司町40-5）

対象：小学生～おとな 【一般チケット：1人 2,000円】

〈後援〉岐阜県教育委員会 岐阜市教育委員会 山県市教育委員会

お問い合わせ・お申込先 ぎふサンSUN子ども劇場協議会

・岐阜中部西子ども劇場 (TEL・FAX) 058-252-5082

・ぎふ西部子ども劇場 (TEL・FAX) 058-231-1440

・ぎふ山県子ども劇場 (TEL・FAX) 0581-22-5443

### 『福島の祈り-ある母子避難の声』

歴史というのは人々の経験の伝承。物語とも言える。

物語には始まりがあり終わりがある。それが伝えられて歴史になる。

福島でおこった事件は311から始まったのでなくそれ以前から原因があった、

どこまで遡ればいいたろう、果てしない歴史への眼差し。

人々が経験した膨大な物語から一つつかみ出して全体を語ることは不可能だ。

そして事件は進行中。まだ終わっていない、何百年もかかるかもしれないある特定の人の物語でなく同じような経験をしたであろう人の話をつないでこの事件を記録して行く最初の試み。

毎年一作ずつ一生かけて物語をつなげていこうと決めこの大きな物語、  
人々が経験した物語 結末のない物語

ぎふサン SUN 子ども劇場協議会とは・・・

岐阜中部西子ども劇場・ぎふ西部子ども劇場・ぎふ山県子ども劇場の3劇場で構成されています。

普段はそれぞれの劇場で活動していますが、協議会では学習会や舞台鑑賞例会などを一緒に取り組んでいます。

例会（生の舞台鑑賞）や自主活動（まつりやキャンプ等）を通して、様々な人と出会い、異年齢の仲間と一緒にいろいろな体験をすることで、子どもおとなも“生きるための力”がつくと考えています。

- \*自分で考え判断し行動する力
- \*いろんな人とのコミュニケーション力
- \*他者をおもいやれるやさしさ
- \*想像力 など

特に幼児期の親子のふれあいや、五感を刺激するさまざまな体験は、子どもたちの成長に大きく影響すると確信しています。

ぜひ一緒に学んだり、体験してみませんか？

興味のある方は右記のお近くの子ども劇場にご連絡ください。

ぎふサン SUN 子ども劇場協議会 TEL/FAX058-252-5082

